



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 明治ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2269 URL <https://www.meiji.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 松田 克也

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 田中 正司 TEL 03-3273-3524

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	882,327	0.8	70,063	5.4	72,404	11.3	38,819	△11.0
2025年3月期第3四半期	875,026	5.0	66,454	△4.7	65,038	△4.8	43,624	△2.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 56,172百万円 (10.0%) 2025年3月期第3四半期 51,049百万円 (△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 143.24	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	159.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 1,305,823	百万円 809,441	% 58.5	円 銭 2,816.81
2025年3月期	1,184,472	791,783	63.2	2,762.33

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 763,644百万円 2025年3月期 748,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	52.50	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	52.50	105.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 1,177,000	% 2.0	百万円 91,000	% 7.4	百万円 87,500	% 6.7	百万円 54,000	% 6.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) Meiji Food Asia Pacific Pte. Ltd. 、Meiji Pharma Asia Pte. Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、「添付資料」14ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	282,200,000株	2025年3月期	282,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	11,097,341株	2025年3月期	11,309,372株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	271,006,229株	2025年3月期 3Q	273,706,266株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算短信補足説明資料の入手方法について）

決算短信補足説明資料は決算短信に添付し T D n e t で開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

（アナリスト・機関投資家向け電話会議資料の入手方法について）

当社は、2026年2月12日（木）にアナリスト・機関投資家向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議におけるプレゼンテーション資料及び音声情報は、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	11
四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(重要な後発事象)	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における当社グループの経営環境は、国内において雇用・所得環境の改善が見られる一方、物価上昇に伴う生活防衛意識の高まりから節約志向が継続しています。また、不安定な国際情勢や各国の通商政策、為替変動など世界経済の先行きも不透明な状況が続いています。

このような環境下、当社グループは2024年4月よりスタートした「2026中期経営計画」に基づき、次の取り組みを推進しています。

食品セグメントでは、価格改定によりコスト上昇分の吸収に取り組むと同時に、既存品の付加価値提案強化や新商品の売上拡大に注力しました。国内ではB to B事業の成長拡大に取り組み、海外では好調な米国事業に注力するとともに、中国事業におけるリバイバルプランの実行を通じて収益性の改善に努めました。

医薬品セグメントでは、抗菌薬やワクチンの安定供給に取り組むとともに、経済安全保障上の課題である抗菌薬原薬の国内生産体制の構築を進め、2025年12月より岐阜工場での抗菌薬原料の生産を開始しました。また、新型コロナウイルス感染症に対する次世代mRNAワクチン「コスタイベ」の2人用バイアル製剤を上市し、薬剤耐性対策に貢献する新規β-ラクタマーゼ阻害剤「OP0595（ナキュバクタム）」の開発にも取り組んでいます。加えて、ジェネリック医薬品業界が抱える供給不安の構造的問題を解決するため、複数の企業とコンソーシアム構想の実現に向けた協議を進めています。

当第3四半期連結累計期間の売上高は8,823億27百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は700億63百万円（同5.4%増）、経常利益は724億4百万円（同11.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は388億19百万円（同11.0%減）となりました。

（単位：億円）

	2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上高	8,750	8,823	73	詳細はセグメント別の概況に記載
営業利益	664	700	36	詳細はセグメント別の概況に記載
営業外収益	32	48	15	為替差益+13
営業外費用	46	24	△22	持分法による投資損失△30
経常利益	650	724	73	—
特別利益	68	53	△15	投資有価証券売却益△34、補助金収入+25
特別損失	35	120	84	減損損失+44、固定資産圧縮損+24
税金等調整前 四半期純利益	683	656	△26	—
法人税等	218	230	11	—
非支配株主に帰属する 四半期純利益	29	38	9	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	436	388	△48	—

セグメント別の概況は次のとおりです。

#### ①食品セグメント

- ・売上高は前年同期を上回りました。カカオ事業、フードソリューション事業は前年同期を上回り、デイリー事業は前年同期並みとなりました。ニュートリション事業は前年同期を下回りました。
- ・営業利益は前年同期を上回りました。デイリー事業、カカオ事業、フードソリューション事業は前年同期を大幅に上回りました。ニュートリション事業は前年同期を大幅に下回りました。

(単位: 億円)

		2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
食品	売 上 高	7,016	7,111	1.3%
	営業利益	494	536	8.4%

営業利益増減分析 (単位: 億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位: 億円)

売 上 高				営業利益			
	2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率		2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
デイリー	2,037	2,052	0.8%	デイリー	162	210	30.0%
カカオ	1,263	1,373	8.7%	カカオ	113	127	12.2%
ニュートリ ション	950	924	△2.8%	ニュートリ ション	132	115	△13.0%
フードソリ ューション	1,495	1,552	3.8%	フードソリ ューション	65	78	20.5%
その他	1,269	1,208	△4.8%	その他	21	3	△81.3%

### ディイー事業 (プロバイオティクス、ヨーグルト、牛乳、海外)

- ・売上高は前年同期並みとなりました。国内では、価格改定と販促強化により主力の「明治プロビオヨーグルトR-1」や「明治ブルガリアヨーグルト」など市販品は好調に推移しましたが、宅配チャネルの不調により前年同期並みとなりました。海外では、中国で2025年7月より新商品「明治おいしい牛乳」を発売し、市販用牛乳・ヨーグルト事業が増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、価格改定効果や製造間接費の減少などにより増益となりました。海外は、中国の市販用牛乳・ヨーグルト事業の販売拡大やリバイバルプランにおけるコスト改善の取り組みにより赤字額が縮小しました。

### カカオ事業 (チョコレート、グミ、海外)

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内では、チョコレートが価格改定効果により増収となりました。グミも新商品が好調に推移し増収となりました。海外では、中国での主力チョコレート群の伸長や米国での「ハローパンダ」の販売拡大により増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、原材料コストが増加しましたが価格改定効果により増益となりました。海外は、米国は増益でしたが、中国における原材料コストの増加などが影響し、全体では減益となりました。

### ニュートリション事業 (乳幼児ミルク、スポーツ栄養、高栄養食品、海外)

- ・売上高は前年同期を下回りました。国内では、乳幼児ミルクがインバウンド需要の減少などの影響で減収となりました。海外は、輸出販売品の出荷の時期ずれなどにより減収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に下回りました。国内は、原材料コストの増加や乳幼児ミルクなどの減収により減益となりました。海外は、前年同期に発生した事業拡大のための先行投資費用の反動により赤字額が縮小しました。

### フードソリューション事業 (B to B、チーズ、フローズンデザート、海外)

- ・売上高は前年同期を上回りました。国内では、業務用のクリームやカカオが増収となりました。チーズも主力の「明治北海道十勝カマンベールチーズ」が好調に推移しました。海外では、中国において市販用のフローズンデザートで減収となりましたが、業務用クリームや業務用牛乳は増収となりました。
- ・営業利益は前年同期を大幅に上回りました。国内は、原材料コストなどが増加しましたが、価格改定効果により増益となりました。海外は、コスト削減の取り組みが寄与し赤字額が縮小しました。

### その他事業 (乳原料、国内独立系子会社、海外)

- ・売上高は、受託製造品の減収が影響し前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、国内の受託製造品の減収と、海外の事業拡大のための先行投資費用の発生により前年同期を大幅に下回りました。

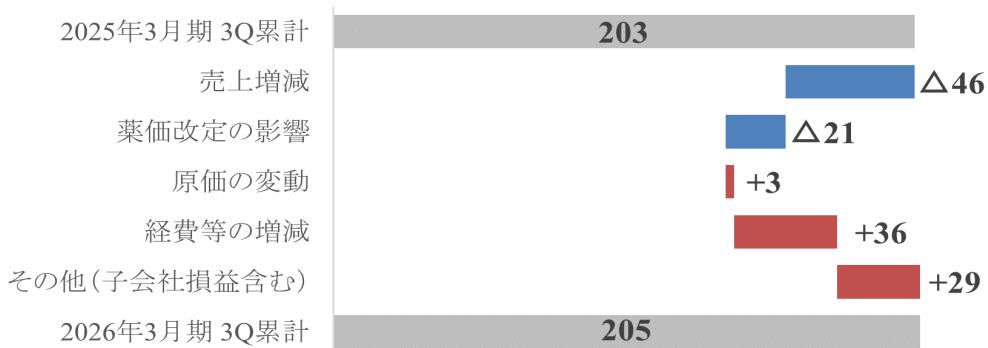
## ②医薬品セグメント

- ・売上高は前年同期を下回りました。ワクチン・動物薬事業は前年同期を上回り、国内事業は前年同期並みとなりました。海外事業は前年同期を下回りました。
- ・営業利益は前年同期を上回りました。国内事業は前年同期を大幅に下回りました。海外事業は前年同期を上回り、ワクチン・動物薬事業は前年同期の営業損失から黒字に転換しました。

(単位：億円)

		2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
医薬品	売 上 高	1,740	1,722	△1.1%
	営業利益	203	205	1.1%

営業利益増減分析 (単位: 億円)



事業別の概況は次のとおりです。

(単位 : 億円)

売上高				営業利益			
	2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率		2025年3月期 第3四半期累計	2026年3月期 第3四半期累計	対前年同期 増減率
国内	870	864	△0.7%	国内	175	144	△17.6%
海外	492	465	△5.5%	海外	52	55	4.5%
ワクチン・ 動物薬	377	392	3.7%	ワクチン・ 動物薬	△25	5	—

#### 国内事業 (感染症、免疫、CNS、ジェネリック医薬品)

- ・売上高は前年同期並みとなりました。2024年5月発売の選択的R O C K 2阻害剤「レズロック錠」が伸長し、血漿分画製剤も増収となりました。抗菌薬は、細菌感染症流行状況の変化により市場が低調に推移し減収となりました。
- ・営業利益は、薬価改定の影響などにより前年同期を大幅に下回りました。

#### 海外事業 (海外自販、海外CMO／CDMO、グローバル品)

- ・売上高は前年同期を下回りました。インドやスペインの子会社の減収が影響しました。
- ・営業利益は、研究開発費用の減少により前年同期を上回りました。

#### ワクチン・動物薬事業 (ワクチン、動物薬、新生児マスククリーニング)

- ・売上高は前年同期を上回りました。5種混合ワクチン「ケイントバック」が伸長しました。
- ・営業利益は、前年同期に発生した新型コロナウイルス感染症に対する次世代mRNAワクチン「コスタイベ」の評価減の反動や子会社であるKMバイオロジクスの原価率改善などにより、前年同期の営業損失から黒字に転換しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

	2025年3月期	2026年3月期 第3四半期	対前期末 増減額	主な増減要因
流動資産	5,407	6,154	747	受取手形及び売掛金+469、原材料及び貯蔵品+268
固定資産	6,437	6,903	466	建設仮勘定+311、機械装置及び運搬具+93
資産合計	11,844	13,058	1,213	—
流動負債	3,070	3,657	587	コマーシャル・ペーパー+530
固定負債	856	1,305	449	長期借入金+441
負債合計	3,926	4,963	1,036	—
株主資本	6,840	6,925	85	利益剰余金+78
その他の包括利益 累計額	642	711	68	その他有価証券評価差額金+53、為替換算調整勘定+27、退職給付に係る調整累計額△12
非支配株主持分	434	457	23	—
純資産合計	7,917	8,094	176	—
負債純資産合計	11,844	13,058	1,213	—

有利子負債	478	1,421	943	コマーシャル・ペーパー+530、長期借入金+441
自己資本比率	63.2%	58.5%	△4.7pt	—

②キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2025年 3月期 第3四半期 累計	2026年 3月期 第3四半期 累計	対前年 同期 増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	239	42	△196	棚卸資産の増減額△366、売上債権の増減額△145、 仕入債務の増減額+273
投資活動による キャッシュ・フロー	△219	△757	△537	有形固定資産の取得による支出△260、 投資有価証券の売却による収入△206、 子会社の清算による収入△39、定期預金の純増減額△21
財務活動による キャッシュ・フロー	△173	652	825	長期借入れによる収入+450、自己株式の増減額+300、 コマーシャル・ペーパーの増減額+280、 短期借入金の純増減額△200
現金及び現金同等物 の四半期末残高	858	622	△235	—
フリー・ キャッシュ・フロー	19	△714	△734	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日の「2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信」で公表いたしました2026年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	78,191	78,881
受取手形及び売掛金	189,533	236,439
商品及び製品	127,621	138,629
仕掛品	5,084	9,551
原材料及び貯蔵品	81,919	108,803
その他	58,817	43,283
貸倒引当金	△401	△115
流动資産合計	540,765	615,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	377,109	389,601
減価償却累計額	△189,056	△200,772
建物及び構築物（純額）	188,053	188,828
機械装置及び運搬具	598,984	624,338
減価償却累計額	△438,925	△454,906
機械装置及び運搬具（純額）	160,059	169,432
工具、器具及び備品	60,292	60,987
減価償却累計額	△47,456	△48,532
工具、器具及び備品（純額）	12,836	12,455
土地	76,092	76,195
リース資産	3,313	1,786
減価償却累計額	△2,260	△1,098
リース資産（純額）	1,053	688
建設仮勘定	45,807	76,999
有形固定資産合計	483,901	524,600
無形固定資産	19,240	21,840
投資その他の資産		
投資有価証券	78,354	74,478
退職給付に係る資産	37,616	38,009
繰延税金資産	15,773	14,979
その他	8,873	16,609
貸倒引当金	△54	△168
投資その他の資産合計	140,563	143,909
固定資産合計	643,706	690,349
<b>資産合計</b>	<b>1,184,472</b>	<b>1,305,823</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	102,846	120,296
短期借入金	25,376	22,564
1年内償還予定の社債	—	10,000
コマーシャル・ペーパー	—	53,000
未払費用	48,785	33,571
未払法人税等	14,332	10,015
契約負債	721	811
返金負債	20,784	23,631
賞与引当金	11,496	5,836
その他	82,734	86,068
<b>流動負債合計</b>	<b>307,077</b>	<b>365,796</b>
<b>固定負債</b>		
社債	10,000	—
長期借入金	12,423	56,556
繰延税金負債	3,747	4,239
退職給付に係る負債	50,602	52,090
役員退職慰労引当金	79	83
その他	8,757	17,614
<b>固定負債合計</b>	<b>85,611</b>	<b>130,585</b>
<b>負債合計</b>	<b>392,688</b>	<b>496,382</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>30,000</b>	<b>30,000</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>38,708</b>	<b>38,743</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>649,258</b>	<b>657,086</b>
<b>自己株式</b>	<b>△33,956</b>	<b>△33,310</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>684,010</b>	<b>692,519</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>16,261</b>	<b>21,607</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	<b>△17</b>	<b>26</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>35,752</b>	<b>38,480</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>12,282</b>	<b>11,009</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>64,278</b>	<b>71,124</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>43,494</b>	<b>45,797</b>
<b>純資産合計</b>	<b>791,783</b>	<b>809,441</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,184,472</b>	<b>1,305,823</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	875,026	882,327
売上原価	617,296	612,894
売上総利益	257,729	269,432
販売費及び一般管理費	191,274	199,368
営業利益	66,454	70,063
営業外収益		
受取利息	419	675
受取配当金	909	888
為替差益	657	2,004
その他	1,286	1,233
営業外収益合計	3,274	4,802
営業外費用		
支払利息	277	469
持分法による投資損失	3,292	221
その他	1,120	1,769
営業外費用合計	4,690	2,460
経常利益	65,038	72,404
特別利益		
固定資産売却益	542	1,915
補助金収入	8	2,508
その他	6,322	894
特別利益合計	6,873	5,319
特別損失		
固定資産廃棄損	3,098	2,271
固定資産圧縮損	8	2,503
減損損失	172	4,605
その他	292	2,690
特別損失合計	3,571	12,070
税金等調整前四半期純利益	68,341	65,653
法人税等	21,808	23,000
四半期純利益	46,532	42,652
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,908	3,832
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,624	38,819

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	46,532	42,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,228	5,347
繰延ヘッジ損益	84	46
為替換算調整勘定	5,558	9,471
退職給付に係る調整額	349	△1,324
持分法適用会社に対する持分相当額	1,753	△20
その他の包括利益合計	4,517	13,519
四半期包括利益	51,049	56,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,078	52,233
非支配株主に係る四半期包括利益	2,971	3,938

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68,341	65,653
減価償却費	41,257	40,880
減損損失	172	4,605
有形固定資産除却損	1,541	2,314
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△119	△170
賞与引当金の増減額（△は減少）	△5,489	△5,664
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△537	△920
受取利息及び受取配当金	△1,329	△1,564
支払利息	277	469
持分法による投資損益（△は益）	3,292	221
有形固定資産売却損益（△は益）	△541	△1,793
投資有価証券売却損益（△は益）	△4,388	△888
売上債権の増減額（△は増加）	△29,527	△44,084
棚卸資産の増減額（△は増加）	△3,120	△39,759
契約負債の増減額（△は減少）	282	65
仕入債務の増減額（△は減少）	△12,627	14,680
その他	△4,765	△3,960
小計	52,718	30,084
利息及び配当金の受取額	1,991	2,769
利息の支払額	△243	△351
法人税等の支払額	△30,535	△28,235
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,930	4,267
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△1,534	△3,662
有形固定資産の取得による支出	△41,201	△67,252
無形固定資産の取得による支出	△3,091	△5,516
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,524	2,334
補助金の受取額	2,425	91
投資有価証券の取得による支出	△4,738	△860
投資有価証券の売却による収入	21,800	1,142
その他	2,819	△2,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,996	△75,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	19,997	△78
コマーシャル・ペーパーの増減額（△は減少）	25,000	53,000
長期借入れによる収入	—	45,000
長期借入金の返済による支出	△3,013	△3,611
自己株式の増減額（△は増加）	△30,046	△9
配当金の支払額	△26,659	△27,635
非支配株主への配当金の支払額	△801	△766
その他	△1,798	△675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,322	65,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	972	1,734
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△14,416	△4,520
現金及び現金同等物の期首残高	102,832	66,398
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,609	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	391
現金及び現金同等物の四半期末残高	85,806	62,269

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	700,950	174,075	875,026	—	875,026
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	726	17	744	△744	—
計	701,676	174,093	875,770	△744	875,026
セグメント利益	49,491	20,334	69,826	△3,371	66,454

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△3,371百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,361百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	710,104	172,223	882,327	—	882,327
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,036	18	1,054	△1,054	—
計	711,140	172,241	883,381	△1,054	882,327
セグメント利益	53,651	20,554	74,206	△4,142	70,063

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△4,142百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,156百万円が含まれております。全社費用は当社（持株会社）運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。